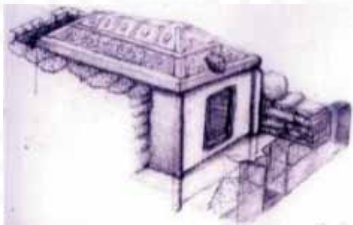


古代の文様、彫ってみました 石人山古墳直弧文彫刻体験 ワークショップの1年

広川町では、文化庁の国庫補助を受けて、「地域の特色ある埋蔵文化財活用」事業を実施しました。一條区にある石人山（せきじんさん）古墳（八女古墳群・国指定史跡）の後円部には、全国的にも有名な冢形石棺があります。その棺蓋に浮彫された「直弧文（ちよつこもん）」を、その文様の意味や彫刻技術の側面から、貴重な文化遺産として再認識し、地域文化財のシンボルとして活用しようとする取り組みです。

今年度は、石棺の材料である阿蘇溶結凝灰岩に、受講生が実際に直弧文を彫刻する、日本で初めての実体験ワークショップを行いました。受講生は小中学生8人、一般15人の計23人。年齢に関係なく熱心に受講していただきました。

今回のワークショップでは、岡山県在住の西平孝史氏（直弧文研究に魅せられた彫刻家）と、熊本県在住の高木恭二氏（日本の装飾



古墳研究の第一人者）の2人に講師を務めていただきました。受講生の皆さんは史跡見学や振り返り報告会などを通して2人の話を聞き、5世紀代の九州における石人山古墳の重要性や、古代技術の精巧さと隠された規則性に感嘆した様子でした。西平氏の指導による彫刻体験では、受講生全員、夢中になって石材に向かい、作品を完成させました。

来年度はいよいよ、石人山古墳の石棺を同サイズ・同石材で復元します。講師指導のもと、受講生全員で装飾文様を彫刻する予定ですので、ご期待ください！



↑ 西平孝史氏



↑ 高木恭二氏

問

教育委員会事務局 生涯学習係

☎ 0943・32・0093

(内線311、312)



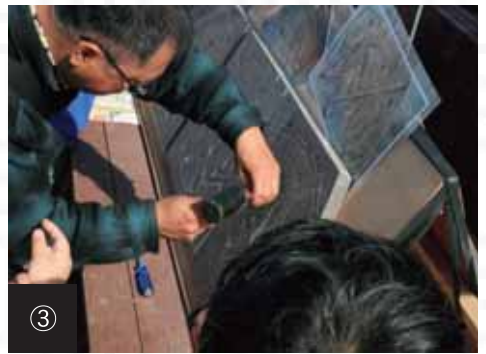
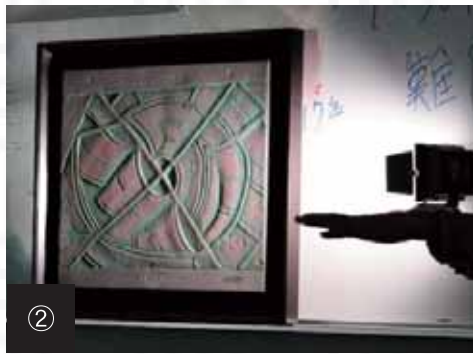
↑ 全員、古代の石工さんの気持ちになっています！



↑ 彫刻用の板材・鑿(たがね)・ハンマーなど



↑ 4人で協力し、原寸大の直弧文を彫りました



① 3次元計測図で直弧文の隠されたラインを検討中 ②光を横から当てると、彫刻の起伏がわかります ③古墳まつりでは「一人一彫り体験」を実施 ④古墳公園資料館でワークショップの成果を展示中です ⑤⑥規則性を勉強した小中学生の皆さんと西平先生が描いた直弧文

平成30年度も彫刻体験ワークショップを開催します。ぜひ一緒に古代文様の魅力を勉強しましょう！